

いよいよ学年の後半だよ



新入生歓迎会での言葉

10月に入りました。一ヶ月の休校期間があり、また例年1学期に行われていた学校や学年の行事は2学期に延期されたので、学年の半分が終わった感じは少ないかもしれません。令和2年度はあと6ヶ月になりました。放送で行った新入生歓迎会での江原有優美さんの新入生代表あいさつの一部を記載しています。年度当初の思いや決意を思い出し、充実した後半にしてほしいと思います。

(前略) 今年新型コロナウイルスのため、突然の臨時休校が続き、卒業や入学の実感がないまま中学校生活が始まりました。しかし、先生や先輩方の温かい歓迎が不安を吹き飛ばしてくれました。中学校は教科も増え勉強が難しくなるので、ついていける様に予習復習をしっかりとしたいです。そして、目標を持って積極的に取り組みたいです。部活動も初めての経験で、とても楽しみにしています。部活動では友達をたくさん作り、仲間と協力する事も学びたいです。まだまだ慣れないことはいっぱいですが、新入生みんなで助け合って、先輩方のようになるように頑張りたいです。これからよろしくお祈りします。

3年生は部活動卒業

今年新型コロナウイルス感染症の影響で、全国大会に繋がる多くの大会が中止になりました。岡山市では無観客などの感染防止対策をとった上で、夏休み期間中に総合体育大会を開催し、運動部の3年生は初めてで最後の公式戦を実施しました。年度初めは部活動も長い間なく、練習が始まった後も公式戦ができるのかどうか分からないままでした。気持ちの切り替えが難しい中での練習でしたが、3年間共に支え合った仲間と最後の試合を楽しむことができました。



しかし、一方で感染防止対策が十分とることができないという理由で、公式戦が行えない部もありました。本校では剣道部と吹奏楽部です。吹奏楽部は、大会は開催されたものの、参加条件が非常に厳しく参加を断念しました。そこで、剣道部と吹奏楽部は、それぞれ校内で、最後の試合や演奏会を開催しました。剣道部は8月25日に武道場で、吹奏楽部は9月19日に体育館で、感染対策を行った上で保護者の方にも参観して頂いて開催しました。他の部が公式戦を行える中、気持ちを切り替えて思い出に残る時間を過ごすことができました。



学区で取り組むあいさつ運動

「あいさつの数だけ笑顔が咲く」というあいさつ標語の入った同じベストを着用して、学区内のすべての保育園や幼稚園、小学校、中学校で連携して、あいさつ運動を実施しています。私立の園もこの運動に賛同してくださり、私立公立の枠を超えて、手を携える事ができたのは、学区の子供たちにとって、大きな一歩を踏み出すことができたと考えています。この絆をこれからも大切に、あいさつのできる子供たちを育成していきたいと思っています。



【各校園で掲示しているあいさつ運動ポスター】

本校でのあいさつ運動に参加して

学校警察連絡室の方が、本校のあいさつ運動に定期的に来てくださっています。8時前には来てくださり、8時半まで気持ちよいあいさつで生徒たちを迎えてくださっています。感謝の気持ちでいっぱいです。生徒がよくあいさつを返してくれて、警察官の方から元気をもらえますと、伺ったことがあります。私はとても嬉しく感じました。また、参加してくださっている警察官の方からとても嬉しい感想を頂きましたのでご紹介いたします。

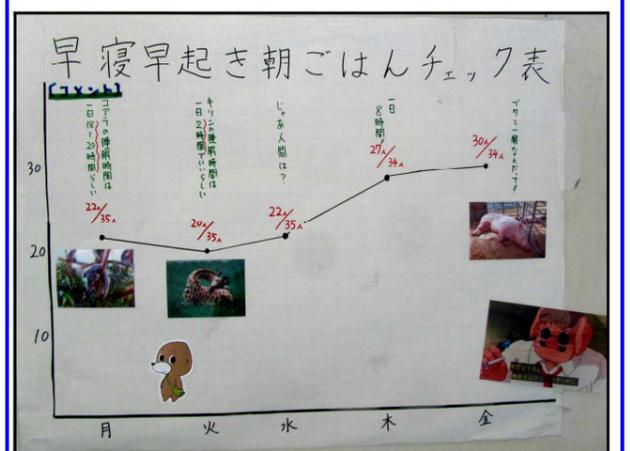
早寝早起き朝ご飯

2年生の保健体育委員会で取り組んでいる「早寝早起き朝ご飯」で、自分で決めた睡眠時間や起床時間、朝ご飯の摂取ができた人の人数を、クラス毎に様々な表現で結果を掲示しています。寝ること起きることでの生徒の特徴や、動物の睡眠時間など、興味深い掲示を見つけました。キリンの睡眠時間は2時間だったり、人間の睡眠時間は豚と同じだったり、皆さんは知っていましたか。

私達は小中学校あわせて35校を巡回しています。その中で感じるの、恥ずかしいとか、照れくさいとか、面倒くさいとか、いろいろな理由で、学年が上がるにつれてあいさつを返してくれなくなる人が多いということです。

ところが、福南中学校の生徒は、男子も女子も学年に関係なくほとんどの生徒が大きな声であいさつを返してくれますし、大きな声が出ていない生徒でも軽く会釈を返してくれて、全く無視をする生徒はほほいしません。あいさつ運動に参加してみ、福南中学校の生徒のあいさつはとても優秀だと感じています。

掲示には、「規則正しい生活で健全な心が育ちます。継続して頑張ろう」というメッセージが書かれています。規則正しい生活を送ることで、様々なことにしっかり判断ができ、必要な学びにも向かうことができるかと考えています。この健康な一日を送るための基本を、毎日少し勇気を出して、自分の体をいたわる習慣を付けることが大切です。一度に変更することは難しいと思いますが、少しずつ体を慣らしていきましょう。今の生活は、10年後の皆さんの健康に繋がっています。私も頑張るので、皆さんも頑張ってみてほしいと思っています。



あいさつのプレゼンテーション

昨年の9月に行った生徒集会では、「あいさつ 魔法の言葉」というお題でプレゼンテーションを行いました。世界には様々な作法のあいさつがあります。しかし、あいさつをするこの意味は、どこの国の人も同じだと改めて思いました。今、福南中学校の皆さんは、本当に気持ちのよいあいさつを行っています。相手の目を見て、気持ちのよいあいさつができる大人になってほしいと願っています。生徒集会で行ったプレゼンテーションの一部を紹介します。



インド



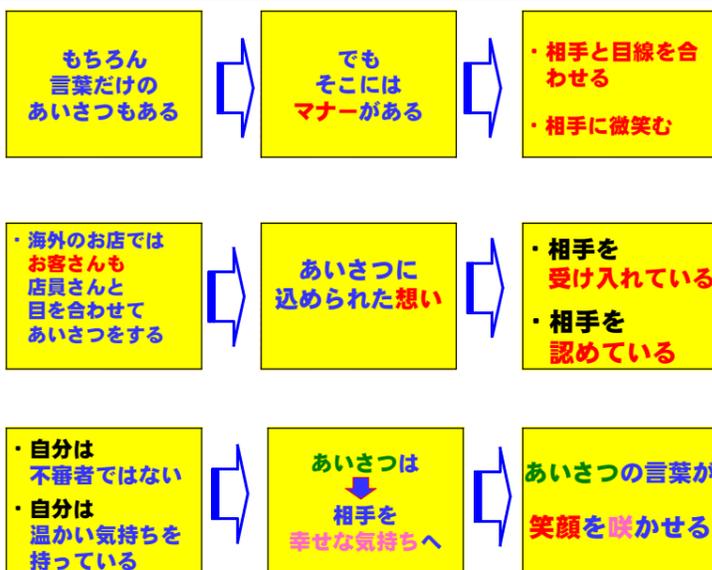
ニュージーランド



フランス



ドイツ



インドのあいさつは相手の幸せを願う気持ちの表現、ニュージーランドのあいさつは命の息吹を交換して親愛の情の表現、フランスのあいさつはエアーキスと呼ばれる親愛の情の表現、ドイツのあいさつは相手を理解しようとする表現と言われています。あいさつは、相手への敬意を表現するものです。あいさつは、する人も、そしてされた人も幸せにする魔法の所作です。これからも福南中学校の生徒が、校内でも地域でも、あいさつで笑顔の花を咲かせてほしいと願っています。